



# 不正薬物の押収量1.5トン超え 過去最高の令和元年に迫る押収量

～令和5年の東京税関における関税法違反事件の取締り状況～

東京税関が令和5年に摘発した不正薬物(※1)は、合計で371件(前年同期比5%減)/約1,799kg(※2)(同約2.5倍)となり、4年ぶりに押収量1.5トンを超える深刻な状況となった。

内訳は、覚醒剤191件(同6%減)/約1,548kg(同約3.1倍)、大麻44件(同4%減)/約103kg(同3%減)、麻薬110件(同10%増)/約147kg(同35%増)及び18千錠(同72%増)、向精神薬1件(同83%減)/9錠(同98%減)、指定薬物25件(同31%減)/約2kg(同60%減)であった。

## [主な特徴]

- ◆ 不正薬物の押収量が、4年ぶりに1.5トン超え、過去2番目
- ◆ 海上貨物による過去最高量となる約704kgの覚醒剤を摘発
- ◆ 大麻草の摘発件数が増加し、押収量は過去5年で最高
- ◆ コカインの摘発件数、押収量が共に過去最高
- ◆ 北米・メキシコ来の覚醒剤が増加
- ◆ 航空機旅客による摘発が激増し、大口化傾向

(※1) 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう。  
資料「社会悪物品の摘発実績」参照。

(※2) 重量等未確定につき含まれないものがある。個々の押収量についても同様。

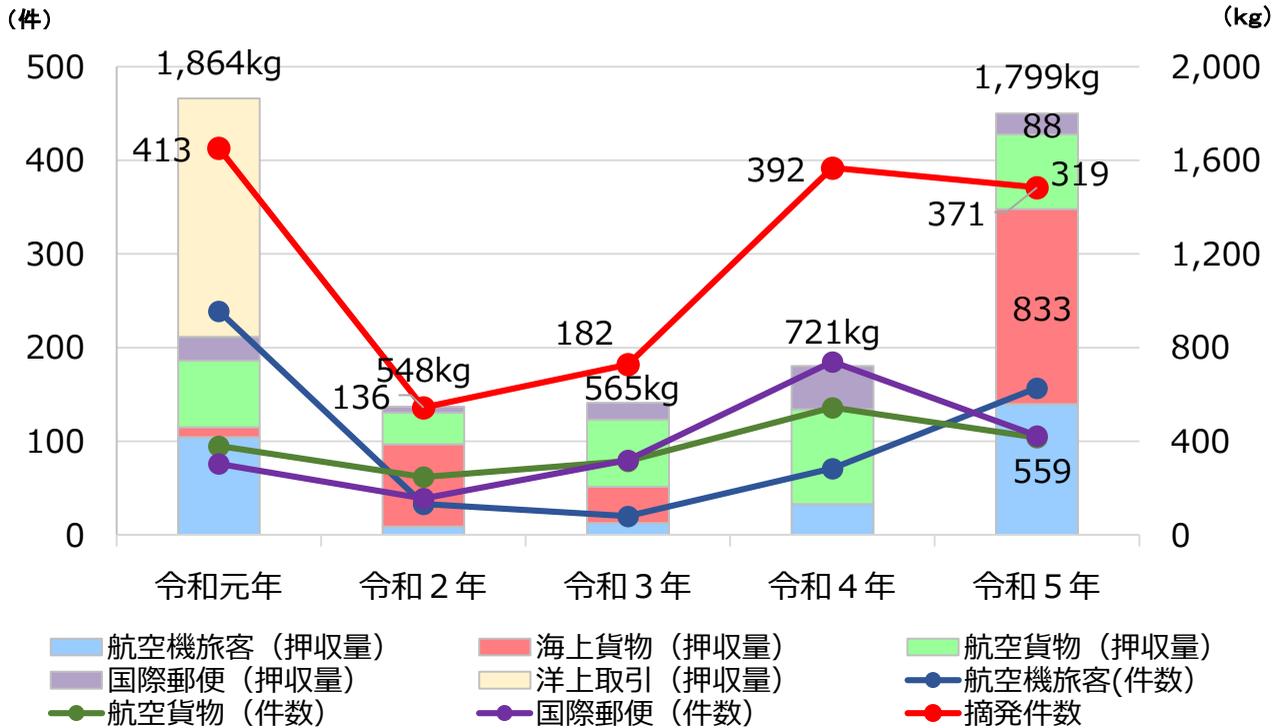
(注1) 令和元年とは平成31年1月から令和元年12月までをいう、以下同じ。

(注2) 令和5年の数値は速報値である。



# 1 不正薬物摘発実績

- ▶ 摘発件数は371件（前年同期比5%減）、押収量は約1,799kg（同約2.5倍）であり、令和元年以降、4年ぶりに1.5トンを超え、過去2番目を記録した。
- ▶ 薬種別では、覚醒剤の摘発件数が全体の約51%、押収量が約86%と最多であった。



- ▶ 航空機旅客からの摘発件数は157件（前年同期比2.2倍）、押収量は約559kg（約4.2倍）であり、前年同期比では共に大幅に増加した。
- ▶ 航空貨物からの摘発件数は104件（同24%減）と減少し、また押収量も約319kg（同21%減）と減少した。
- ▶ 国際郵便物からの摘発件数は106件（同43%減）と減少し、また押収量も約88kg（同52%減）と減少した。

## 形態別不正薬物摘発実績

(摘発件数／押収量)

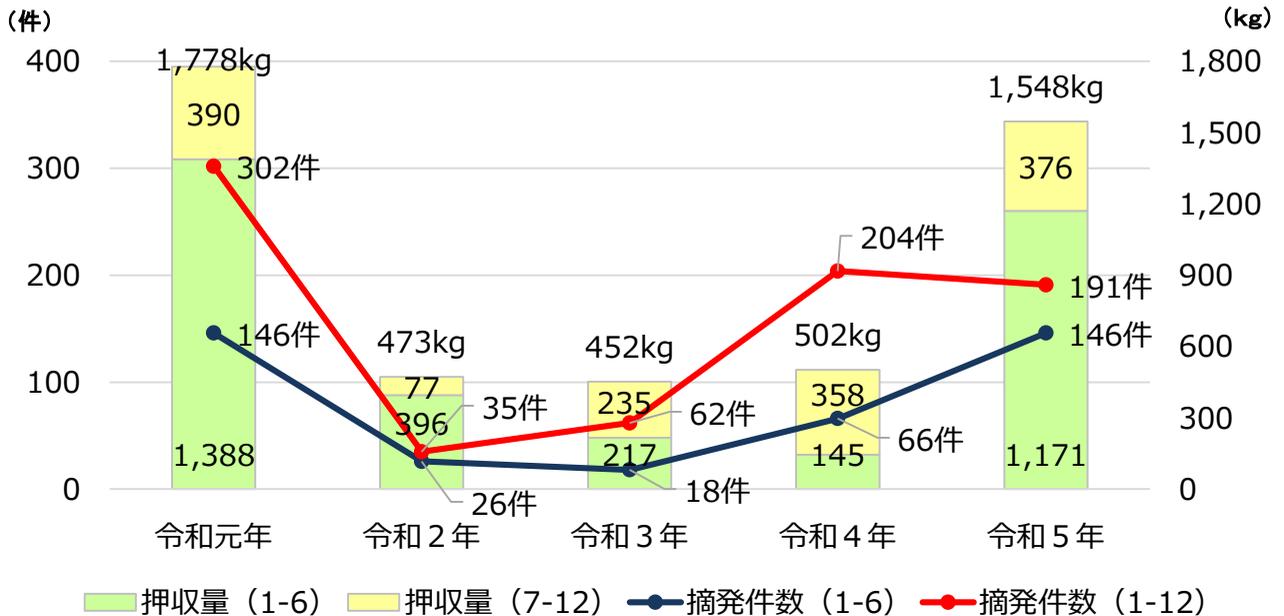
	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	239	417	33	36	20	51	71	132	157	559
商業貨物	97	328	64	487	82	442	136	405	108	1,152
海上貨物	2	43	2	352	3	154	-	-	4	833
航空貨物	95	286	62	135	79	288	136	405	104	319
国際郵便物	76	100	39	25	80	71	185	185	106	88
船舶乗組員等	1	1,019	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	413	1,864	136	548	182	565	392	721	371	1,799

(注) 押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

## 2 薬種別摘発実績

### (1) 覚醒剤

- 摘発件数は191件（前年同期比6%減）と減少したが、押収量は約1,548kg（同約3.1倍）と大幅に増加した（薬物乱用者の通常使用量で約5,160万回分、末端価格にして約960億円に相当）。
- 海上貨物による摘発では過去最高となる約704kgの大口摘発があった。



### ① 密輸入形態

- 航空機旅客からの摘発件数は、72件（前年同期比約75%増）と大幅に増加し、押収量は、約376kg（同約3.5倍）であり、過去最高を記録した。
- 前年実績の無かった海上貨物からの摘発が過去最高(※)の4件あり、押収量は約833kgであった。

### 形態別覚醒剤摘発実績

(摘発件数/押収量)

	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	179	352	12	24	3	35	41	107	72	376
商業貨物	87	323	15	437	43	383	90	296	75	1,121
海上貨物	2	43	2	352	3	154	-	-	4	833
航空貨物	85	280	13	85	40	229	90	296	71	288
国際郵便物	35	85	8	13	16	34	73	99	44	50
船舶乗組員等	1	1,019	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	302	1,778	35	473	62	452	204	502	191	1,548

(※) 年間での海上貨物による摘発件数4件は、過去最高のH27、H30の4件と並び1位タイ。

(注) 押収量については、端数処理のため、合計が一致しないことがある。

## ② 仕出地

- ▶ アジア仕出しが減少し、北米及び中南米仕出しが、摘発件数押収量共に増加した。
- ▶ 押収量では、アラブ首長国連邦来の海上貨物による大口摘発があったことから、中東仕出しが約6割を占め最多であった。

### 仕出地別覚醒剤摘発実績

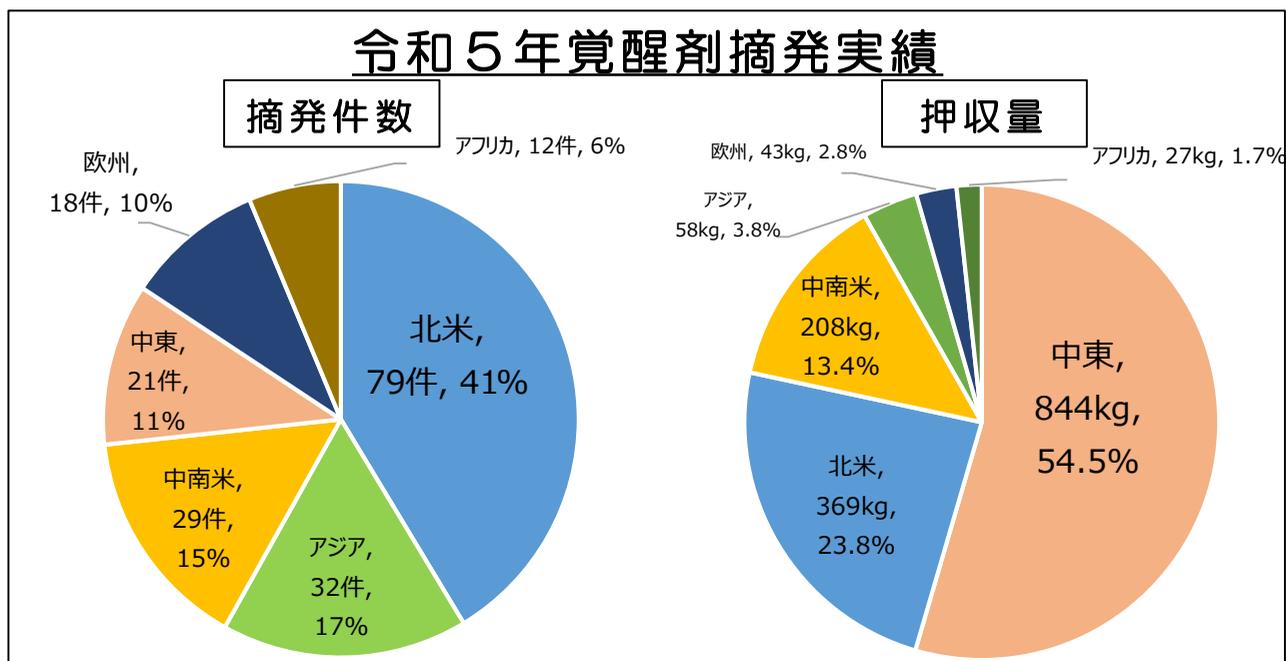
(摘発件数、押収量／構成比)

		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
		件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
ア ジ ア	件	150	50%	16	46%	25	40%	65	32%	32	17%
	Kg	233	13%	133	28%	287	64%	107	21%	58	4%
北 米	件	76	25%	5	14%	12	19%	61	30%	79	41%
	Kg	248	14%	245	52%	68	15%	129	26%	369	24%
中 南 米	件	21	7%	4	11%	5	8%	12	6%	29	15%
	Kg	128	7%	48	10%	10	2%	28	6%	208	13%
アフリカ	件	8	3%	3	9%	5	8%	27	13%	12	6%
	Kg	20	1%	21	4%	22	5%	68	13%	27	2%
欧 州	件	27	9%	3	9%	12	19%	20	10%	18	9%
	Kg	40	2%	7	1%	21	5%	54	11%	43	3%
中 東	件	19	6%	4	11%	3	5%	19	9%	21	11%
	Kg	91	5%	20	4%	44	10%	117	23%	844	55%
不 明	件	1	0%	-	-	-	-	-	-	-	-
	Kg	1,019	57%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	件	302	100%	35	100%	62	100%	204	100%	191	100%
	Kg	1,778	100%	473	100%	452	100%	502	100%	1,548	100%

(注1) 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注2) 端数処理のため、数値が合わないことがある。

### 令和5年覚醒剤摘発実績



事例1【アラブ首長国連邦来海上貨物】

➢ 海上コンテナを利用し、PVCボード内に**覚醒剤約704kg**を隠匿  
(令和5年3月 東京税関本関摘発)



事例2【アラブ首長国連邦来航空貨物】

➢ 円柱状のプラスチック容器内に、液状**覚醒剤約4.1kg**を隠匿  
(令和5年4月 東京税関本関摘発)



蒸発乾固後の粉末

【主な摘発事例】

事例3【メキシコ来航空貨物】

➤ ロウソク様のものに**覚醒剤約3kg**を隠匿

(令和5年5月 東京税関本関摘発)



事例4【パキスタン来航空貨物】

➤ 布団及び枕の中綿に染み込ませて、**覚醒剤約1.7kg**を隠匿

(令和5年4月 東京税関本関摘発)



**覚醒剤が染み込んだ中綿**

**抽出後の粉末**

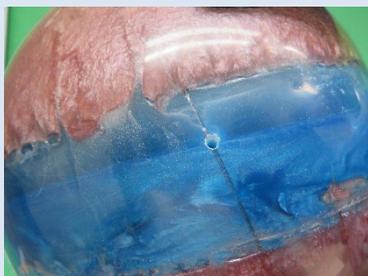
事例5【英国来国際郵便物】

- ポウリング球内に覚醒剤約1.3kgを隠匿  
(令和5年6月 東京外郵出張所摘発)



事例6【英国来国際郵便物】

- ポウリング球内に覚醒剤約1.2kgを隠匿  
(令和5年6月 東京外郵出張所摘発)



事例7【グアテマラ来航空貨物】

➢ バックの中綿部分に**覚醒剤約2kg**を隠匿

(令和5年8月 東京税関本関摘発)



事例8【カナダ来航空機旅客】

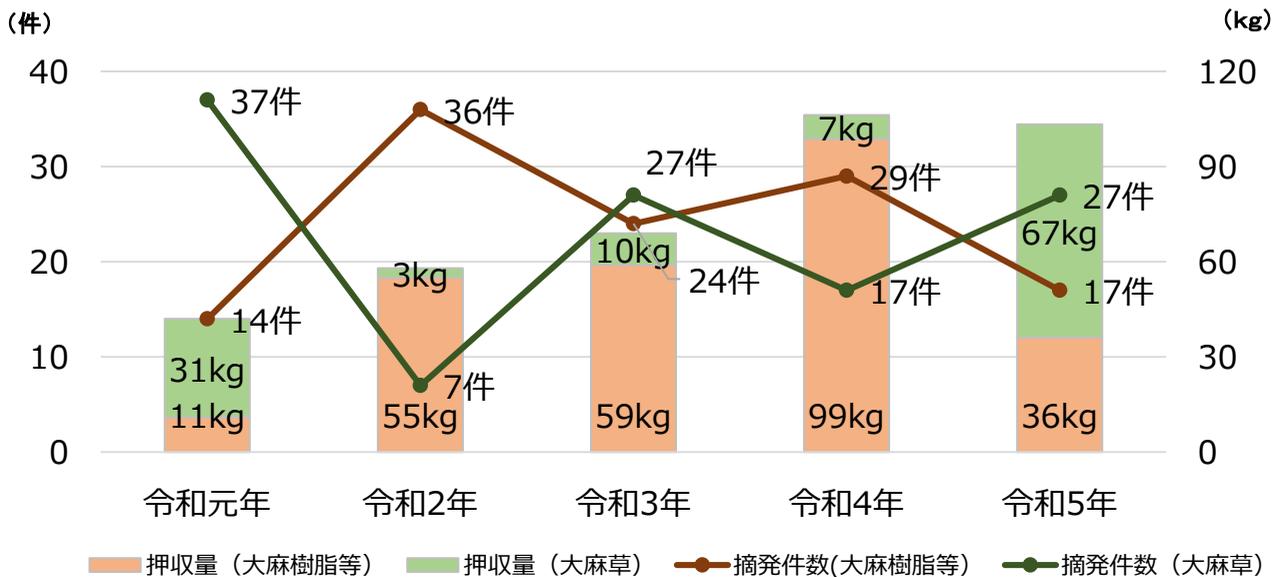
➢ スーツケース内の衣類に包まれた**銀色袋**内に**覚醒剤約16kg**を隠匿

(令和5年11月 羽田税関支署摘発)



## (2) 大麻

- ▶ 大麻（大麻草、大麻樹脂等（大麻樹脂のほか、大麻リキッド・大麻菓子等の大麻製品を含む））の摘発件数は44件（前年同期比4%減）、押収量は約103kg（同3%減）であり、ほぼ横ばいであった。
- ▶ 大麻草については、摘発件数27件（59%増）、押収量は約67kg（同約9倍）と大幅に増加した。



### ① 密輸入形態

- ▶ 航空機旅客からの摘発件数は27件（前年同期比約2倍）、昨年500g未満であった押収量は約86kgと大幅に増加した。
- ▶ 航空貨物からの摘発件数は10件（前年同期比52%減）、押収量は約1kg（同98%減）であり、共に大幅に減少した。
- ▶ 国際郵便物からの摘発件数は7件（同42%減）、押収量は約16kg（同29%減）であり、共に減少した。

### 形態別大麻摘発実績

（摘発件数／押収量）

	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg	件	kg
航空機旅客	21	23	10	0	6	10	13	0	27	86
商業貨物	7	5	26	48	20	34	21	84	10	1
海上貨物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空貨物	7	5	26	48	20	34	21	84	10	1
国際郵便物	23	14	7	10	25	25	12	22	7	16
船舶乗組員等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	51	42	43	58	51	69	46	106	44	103

（注1）数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

（注2）端数処理のため、数値が合わないことがある。

## ② 仕出地

▶ 北米仕出しが摘発件数では約5割、押収量では約9割であり最多であった。

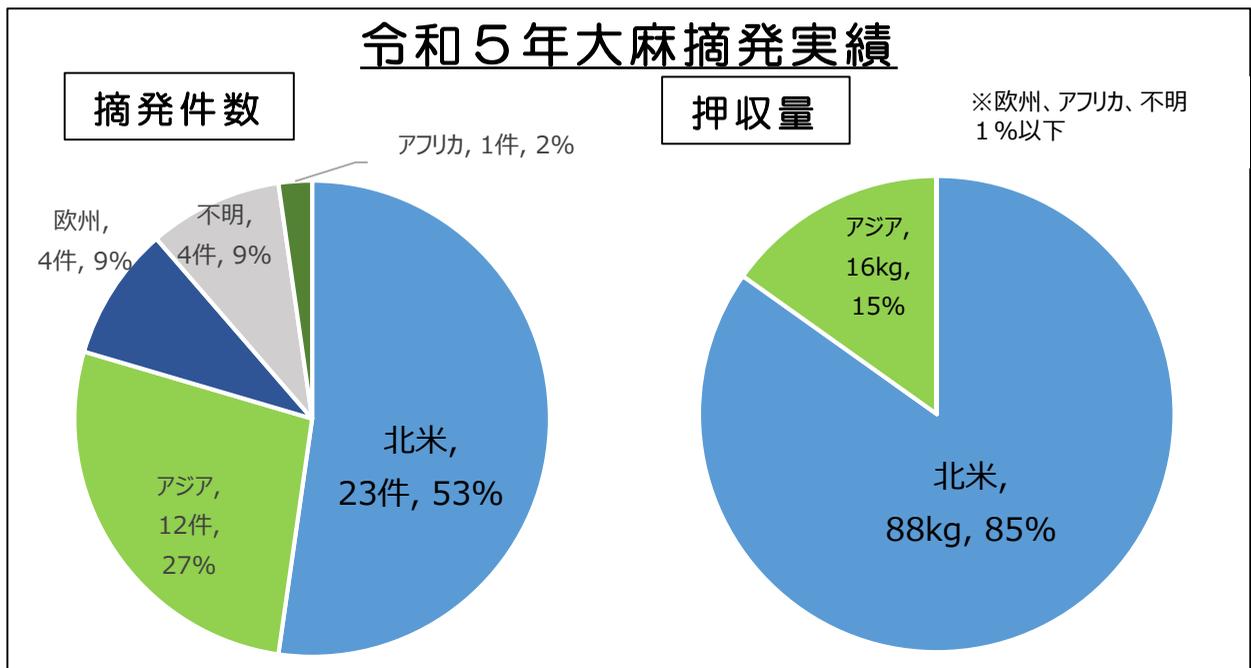
### 仕出地別大麻摘発実績

(摘発件数、押収量／構成比)

		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
		件	%	件	%	件	%	件	%	件	%
アジア	件	2	4%	1	2%	5	10%	13	28%	12	27%
	Kg	9	21%	3	5%	4	6%	23	22%	16	15%
北米	件	42	82%	42	98%	39	76%	27	59%	23	52%
	Kg	33	78%	55	95%	62	90%	83	78%	88	85%
中南米	件	-	-	-	-	-	-	1	2%	-	-
	Kg	-	-	-	-	-	-	0	0%	-	-
アフリカ	件	-	-	-	-	2	4%	-	-	1	2%
	Kg	-	-	-	-	2	3%	-	-	0	0%
欧州	件	7	14%	-	-	4	8%	2	4%	4	9%
	Kg	0	0%	-	-	1	1%	0	0%	0	0%
中東	件	-	-	-	-	-	-	1	2%	-	-
	Kg	-	-	-	-	-	-	0	0%	-	-
不明	件	-	-	-	-	1	2%	2	4%	4	9%
	Kg	-	-	-	-	0	0%	0	-	0	0%
合計	件	51	100%	43	100%	51	100%	46	100%	44	100%
	Kg	42	100%	58	100%	69	100%	106	100%	103	100%

(注1) 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(注2) 端数処理のため、数値が合わないことがある。



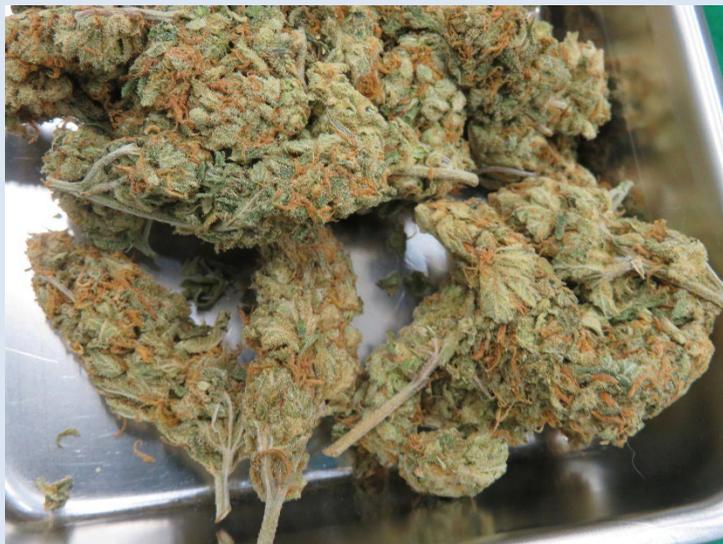
事例9【米国来航空貨物】

- 圧着された一部透明のビニール袋内に大麻草約400gを隠匿  
(令和5年6月 東京税関本関摘発)



事例10【フランス来国際郵便物】

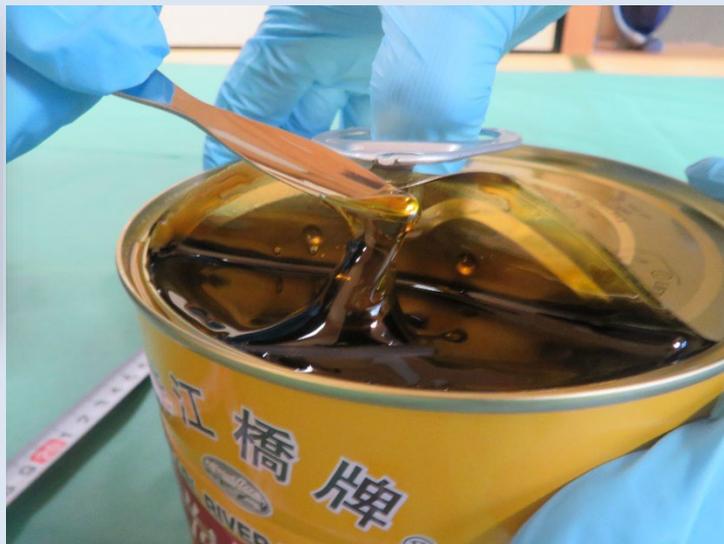
- 封筒内に大麻草約24gを隠匿  
(令和5年11月 東京外郵出張所摘発)



事例11【ベトナム来国際郵便物】

➢ 缶詰内に**液状大麻約12kg**を隠匿

(令和5年8月 東京外郵出張所摘発)



事例12【ベトナム来国際郵便物】

➢ 瓶及びボトル内に**液状大麻約2.8kg**を隠匿

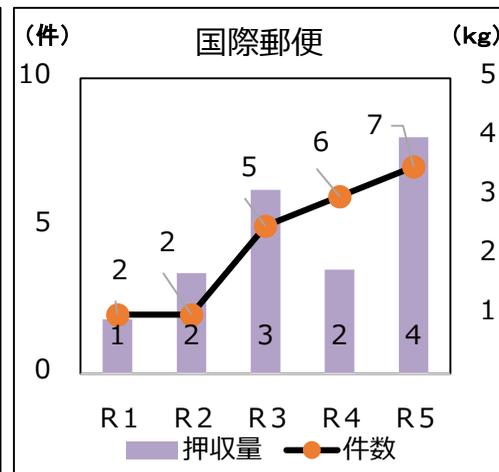
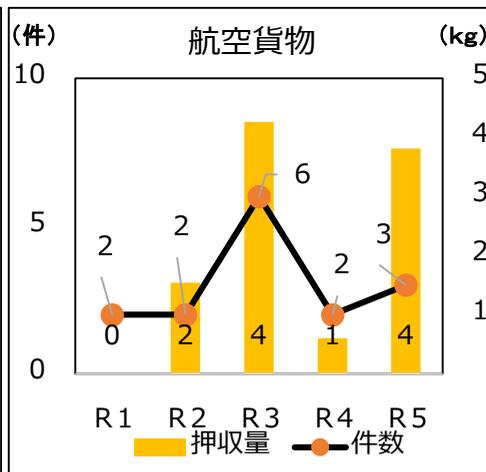
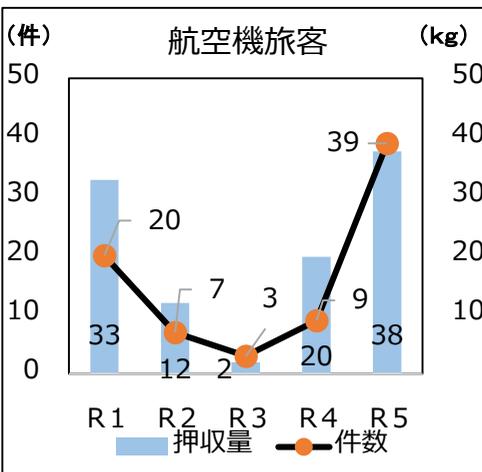
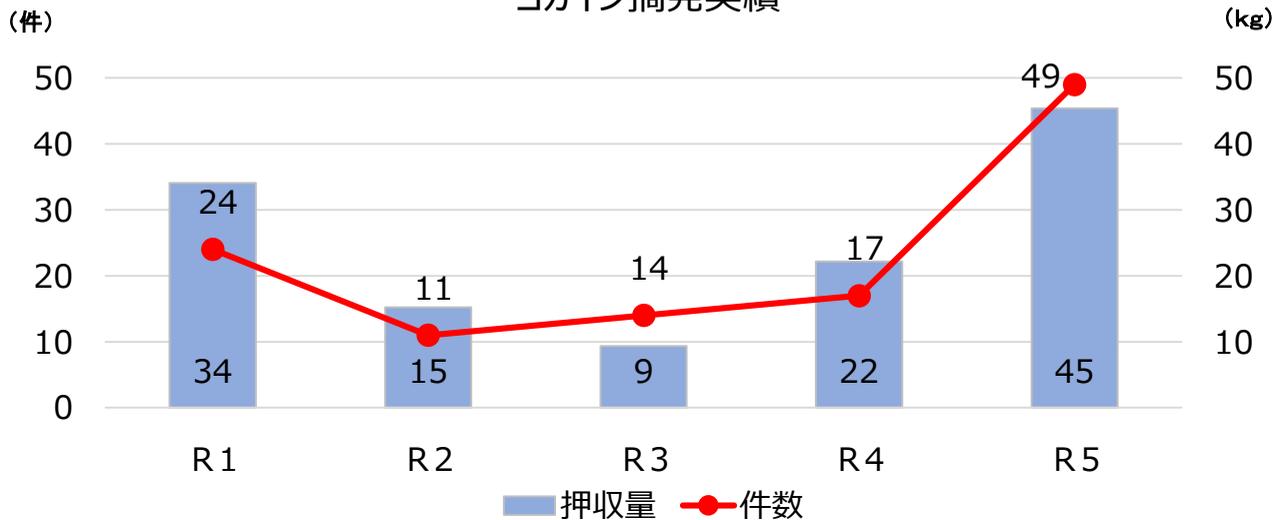
(令和5年8月 東京外郵出張所摘発)



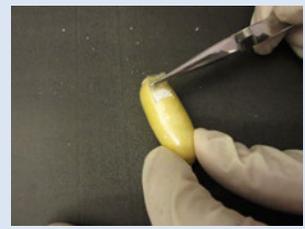
### (3) 麻薬

- ▶ コカインの摘発件数は49件（前年同期比約2.9倍）、押収量は約45kg（同約2倍）であり、共に増加した。
- ▶ 密輸手口別では、航空機旅客からの摘発件数が39件（約38kg）と大半を占め、嚥下隠匿による密輸入が多発した。
- ▶ MDMAの摘発件数は、28件（同28%減）と減少し、押収量は、錠剤型が18千錠（同72%増）と増加し、その他の形状が約67kg（同13%増）と増加した。

コカイン摘発実績



事例13【ブラジル来航空機旅客】  
 蕪玉状に形成されたコカイン約360gを嚥下隠匿（令和5年11月 羽田税関支署摘発）



事例14【ベトナム来国際郵便物】  
缶詰内に液状のコカイン約1kgを隠匿

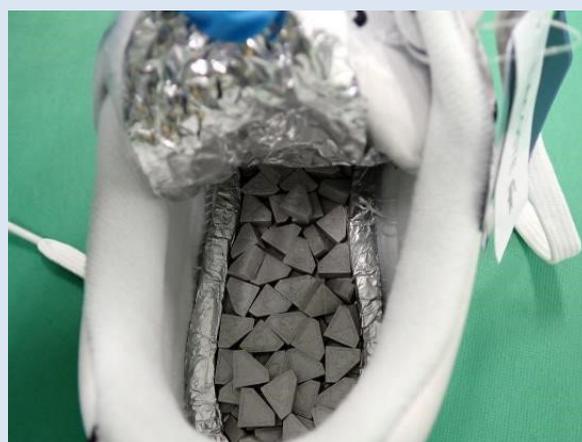
(令和5年3月 東京外郵出張所摘発)



事例15【フランス来国際郵便物】

➢ 靴底にケタミン約78g及びMDMA約43gを隠匿

(令和5年8月 東京外郵出張所摘発)

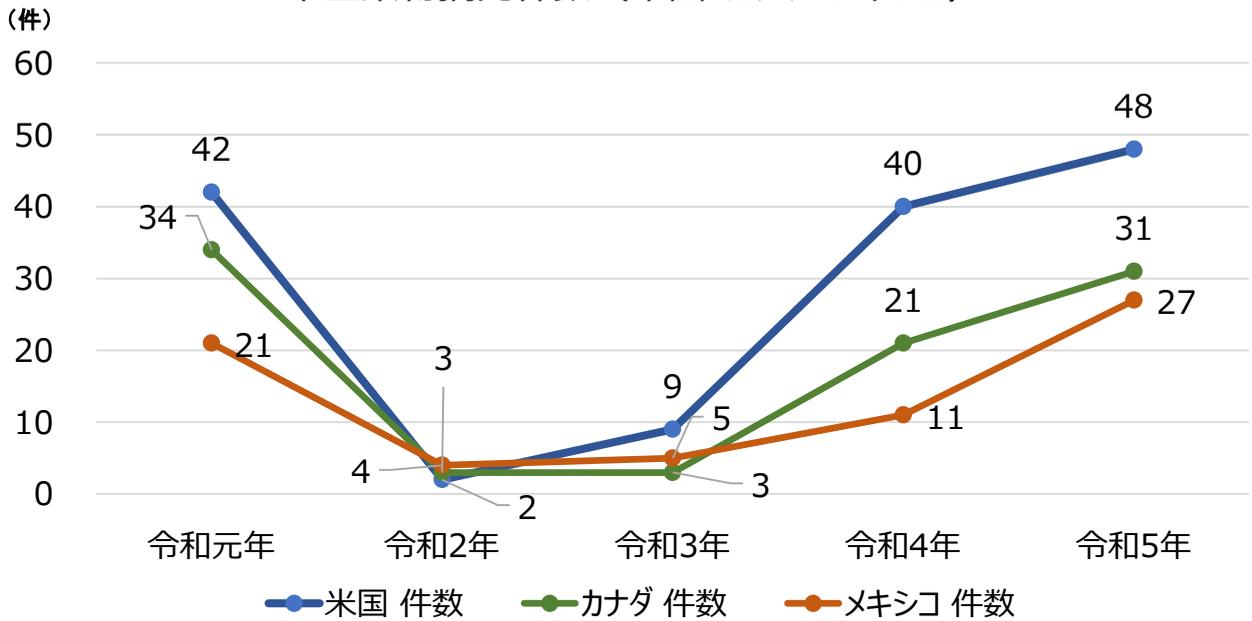


### 3 密輸の特徴

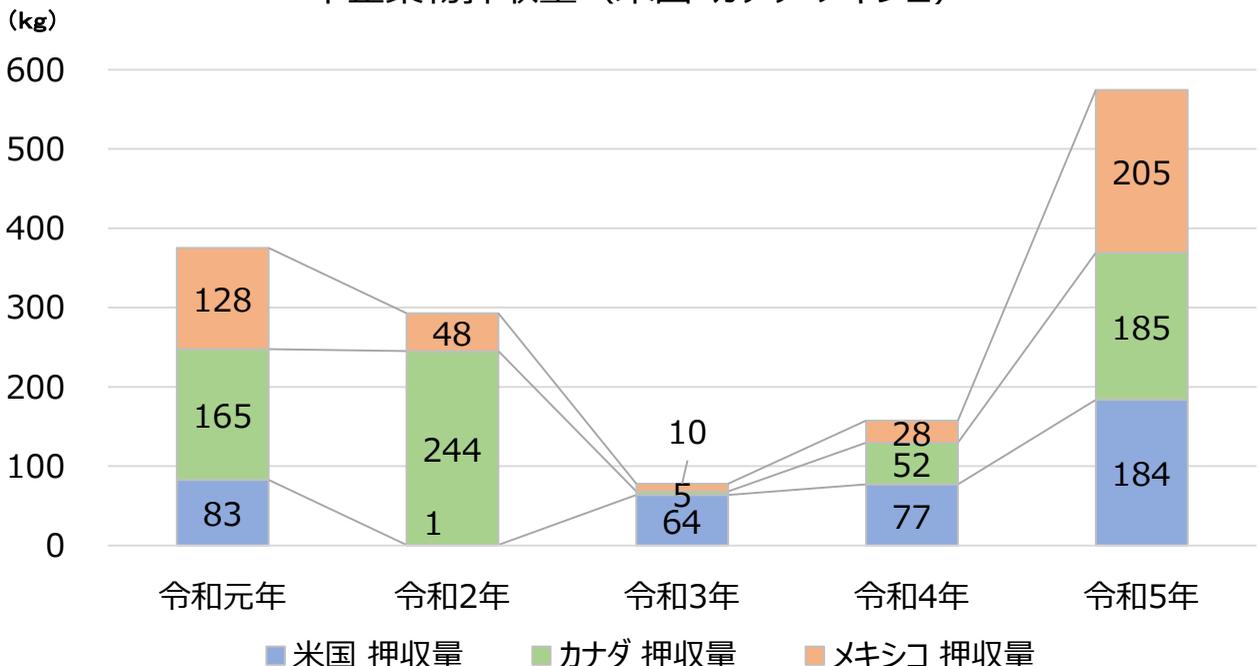
#### 北米・メキシコ仕出しの覚醒剤の密輸入が増加

- 北米(米国・カナダ)とメキシコを仕出しとする覚醒剤の摘発が増加
- 覚醒剤の摘発全体(191件)に対する件数の割合は、55%(106件)と過半数を占めた。
- 米国仕出しの摘発件数は、48件(前年比20%増)、押収量は約184kg(同約2.4倍)と増加
- カナダ仕出しの摘発件数は、31件(同47%増)、押収量は約185kg(同約3.5倍)と増加
- メキシコ仕出しの摘発件数は、27件(同約2.5倍)、押収量は約205kg(同約7倍)と増加

不正薬物摘発件数 (米国・カナダ・メキシコ)



不正薬物押収量 (米国・カナダ・メキシコ)



# 【主な摘発事例】

**事例16【カナダ来航空機旅客】**  
スーツケース内に**覚醒剤約16kg**を隠匿  
(令和5年11月 羽田税関支署摘発)



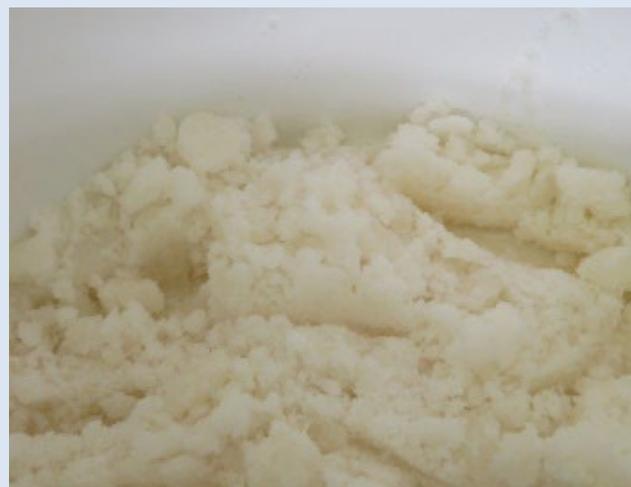
**事例17【米国来航空貨物】**  
自動車用シャフト様のもの内に**覚醒剤約3kg**を隠匿  
(令和5年4月 東京税関本関摘発)



**事例18【米国来航空貨物】**  
ロールカーテンのフレームに**覚醒剤約3kg**を隠匿  
(令和5年4月 東京税関本関摘発)



**事例19【メキシコ来航空貨物】**  
キャンドル内に**覚醒剤約3kg**を隠匿  
(令和5年6月 東京税関本関摘発)

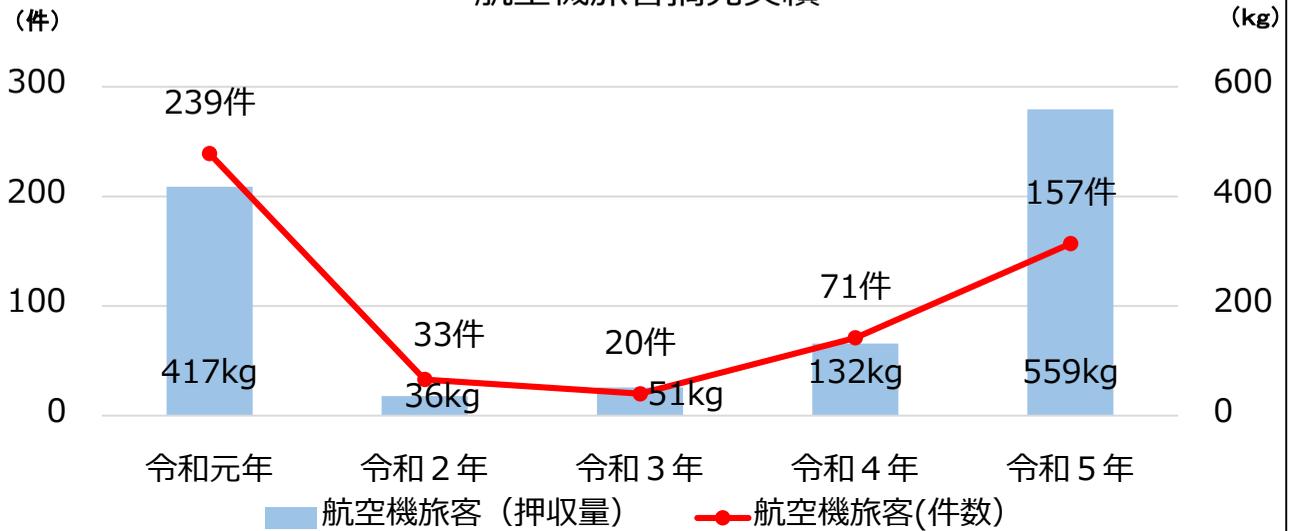


### 3 密輸の特徴2

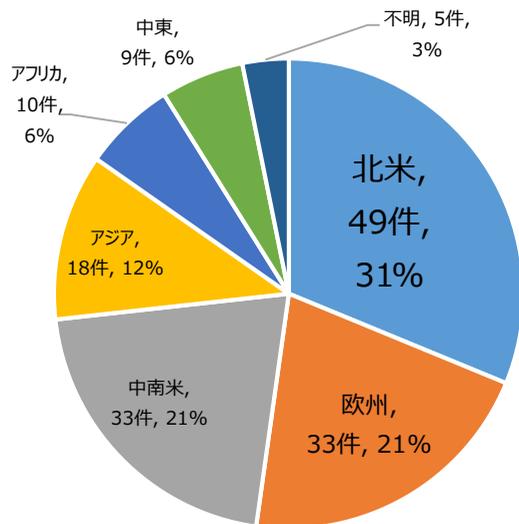
#### 航空機旅客による摘発の激増・大口化

- 航空機旅客による不正薬物の摘発件数は157件(前年比約2.2倍)、押収量は、約559kg(同約4.2倍)と激増した。
- 仕出地別摘発実績では、件数の割合では、北米が31%(49件)と最多であり、押収量についても、北米が約65%(約362kg)と最大であった。
- 1件あたり押収量が10kgを超えるような大口事案も続発した。
- 嚙下隠匿による密輸が多発し、航空機旅客による摘発件数の約17%を占めた。

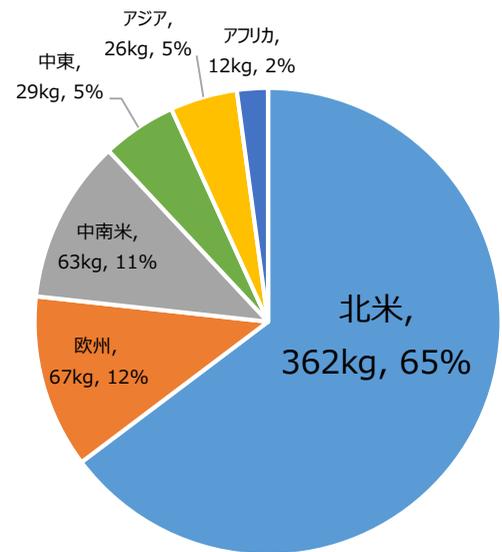
航空機旅客摘発実績



仕出地別摘発件数



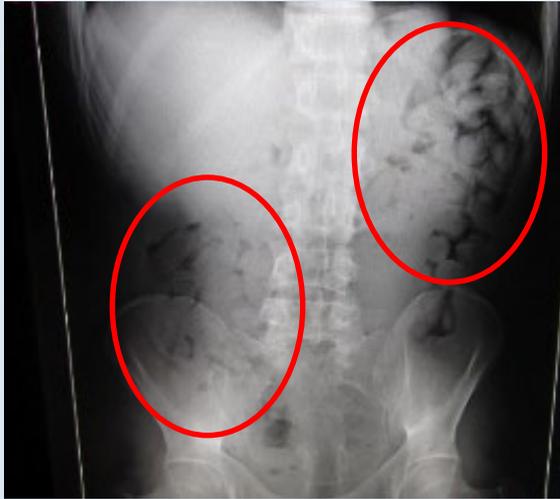
仕出地別押収量



※不明  
500g未満、1%以下

【主な摘発事例】

事例20【ドイツ来航空機旅客】  
 臍玉状に形成されたコカイン約1.1kgを嚥下隠匿  
 (令和5年6月 羽田税関支署摘発)



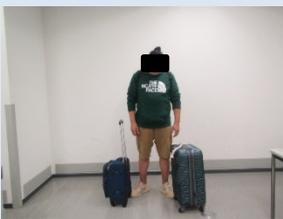
事例21【カナダ来航空機旅客】  
 スーツケース内銀色袋に結晶状のMDMA約7kg及び  
 ケタミン約1kgを隠匿  
 (令和5年10月 羽田税関支署摘発)



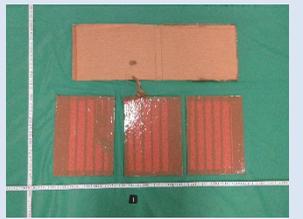
MDMA

ケタミン

事例22【カナダ来航空機旅客】  
 スーツケース内銀色袋に結晶状MDMA約18kgを隠匿  
 (令和5年8月 羽田税関支署摘発)



事例23【ドイツ来航空機旅客】  
 スーツケース二重底にMDMA約5kgを隠匿  
 (令和5年10月 羽田税関支署摘発)

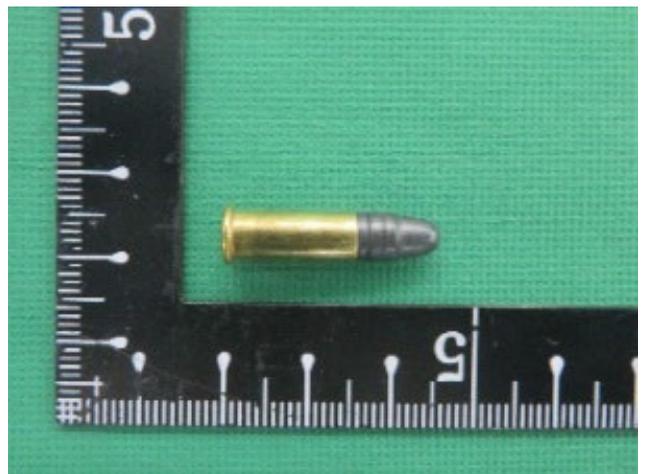
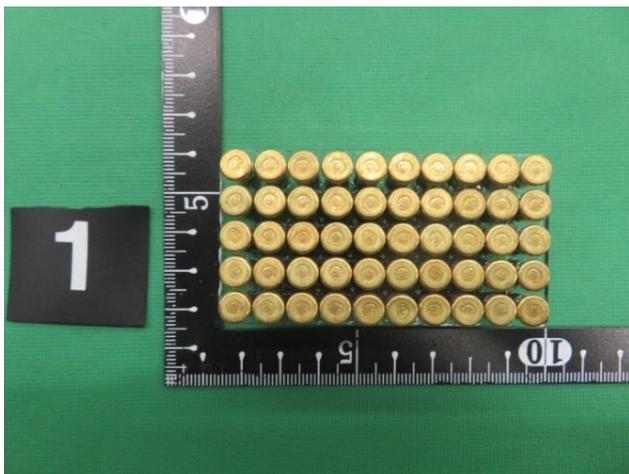


## 4 拳銃実包の密輸入

### 拳銃実包500発を摘発

- 令和5年8月、東京外郵出張所において、ベトナム来国際郵便物から、機械部品（加圧式ポンプ）内に隠匿された拳銃実包500発を摘発した。
- 東京税関における拳銃実包の摘発では過去最高となる。

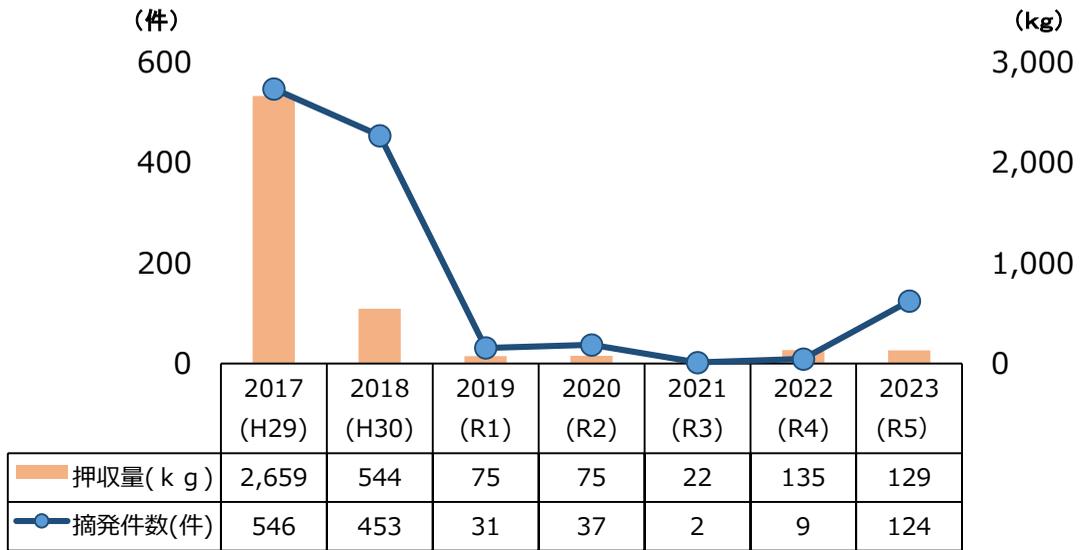
事例24【ベトナム来国際郵便物】



# 5 金地金の密輸入

## 金地金の摘発は100件超え

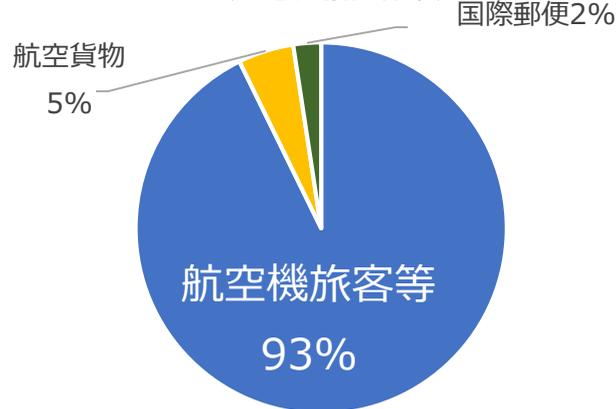
- ▶ 金地金の摘発件数は、124件（前年同期比約14倍）と急増し、押収量は約129kg（同約5%減）と若干減少した。
- ▶ 摘発件数に占めるインゴットの割合は約7%であり、大半がその他の形状（アクセサリー、粉末状、機械部品に偽造等）であり小口化傾向であった。
- ▶ 密輸形態別では、航空機旅客によるものが、115件と全体の約93%と大多数を占めた。
- ▶ 仕出地別では、件数の割合をみると、ベトナムが35%（43件）と最多であり、押収量についても18%（23kg）と最大であった。



〈密輸形態別摘発実績〉

密輸形態	摘発件数		押収量	
	件数	割合	kg	割合
航空機旅客等	115件	93%	103kg	80%
航空貨物	6件	5%	25kg	19%
国際郵便	3件	2%	1kg	1%
合計	124件	-	129kg	-

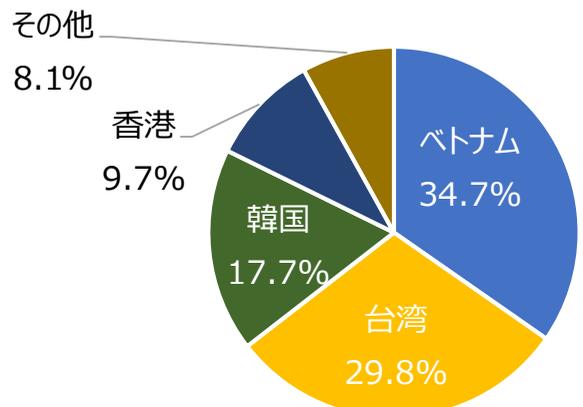
〈形態別摘発件数〉



〈仕出地別摘発実績〉

仕出地	摘発件数		押収量	
	件数	割合	kg	割合
ベトナム	43件	35%	23kg	18%
台湾	37件	30%	21kg	16%
韓国	22件	18%	14kg	11%
香港	12件	10%	24kg	19%
その他	10件	8%	48kg	37%
合計	124件	-	129kg	-

〈仕出地別摘発件数〉



# 【主な摘発事例】

## 事例25【香港来航空貨物】

ステレオレシーバー内にコイル様部品に偽造された  
**金約2kg**を隠匿  
(令和5年12月 東京税関本関摘発)



## 事例26【中国来航空機旅客】

身辺にアクセサリ状の**金約1kg**を隠匿  
(令和5年11月 羽田税関支署摘発)



## 事例27【香港来航空機旅客】

着用スニーカー内及びバック内に**金地金約3kg**を隠匿  
(令和5年7月 羽田税関支署摘発)



## 事例28【台湾来国際郵便物】

紅茶の粉末に混入し、**粉状の金約370g**を隠匿  
(令和5年7月 東京外郵出張所摘発)

